

## 投資事業評価調書(新規)

課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 河南嘉彦 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
-----	-------	---------------------	-----------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約9.6億円 (うち用地補償 2.5億円)
		(主)篠山山南線 緊急地方道路整備事業	氷上郡山南町青田～ 氷上郡山南町太田		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
氷上郡山南町青田～氷上郡山南町太田				平成16年度	平成20年度
事業目的			事業内容		
<p>本路線は、国道175号と国道176号を結ぶ丹波地域の東西幹線道路であるとともに、緊急輸送路でもある。</p> <p>当該区間は幅員が狭小で線形が悪く、大型車のすれ違いが困難であり、通学路でありながら歩道もないことから、交通安全上の危険な状態にある。このため、バイパス整備により、交通安全性の向上、防災・医療福祉等の緊急輸送路としての機能向上を図る。</p>			<p>道路改良(バイパス) L=1,810m</p> <p>現況幅員： W=4.0～5.0(5.0～6.0)m；</p> <p>計画幅員： W=6.0(10.0)m；2車線+片側歩道</p> <p>現況交通量： 3,606台/日</p> <p>計画交通量： 3,800台/日</p>		
評価視点					
(1)必要性	安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急峻な山々に沿った道路であるため、視距が確保されておらず、幅員が狭小で車輛の離合が困難である。このため、円滑かつ安全な車輛の通行を可能にする。</li> <li>・本路線は緊急輸送路に指定されているが、当該区間は、落石等危険箇所、豪雨時等における事前通行規制区間であるため、バイパス整備により緊急輸送路としての機能向上を図る。</li> <li>・通学路でありながら歩道がなく、交通事故の危険性が非常に高いため、安全な通学路を確保する。</li> </ul>			
	暮らしと交流を支える道づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西に細長い山南町の骨格をなす本路線を整備することにより、点在する集落間のみならず播磨地域と丹波地域の地域間交流・連携の強化が図られる。</li> </ul>			
	県土の活用を推進する道づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨地域から県立丹波並木道中央公園(H19年春一部供用)へのアクセスを向上させる。</li> </ul>			
	地域二一ス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学児童の安全確保のため山南町及び地元自治会から、早期整備の要望がある。</li> <li>・山南町勢振興基本計画において、バイパス整備を取り上げ早期整備を強く求めている。</li> </ul>			
(2)有効性・効率性	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本路線は山南町及び丹波地域の重要な東西幹線道路として地域の発展を支える道路となる。また、防災面、医療福祉等への利用に期待されている。</li> <li>・当該区間の整備により本路線の山南町域における未改良区間が解消される。</li> <li>・費用便益費 B/C=1.7</li> </ul>			
	代替性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の現道は、JR福知山線、急峻な山々に挟まれ、現道拡幅が困難で、バイパス整備が最適である。</li> </ul>			
	効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町事業等により整備された区間及び現町道を拡幅するなど既存ストックを活用した整備により、効率的かつ早期事業効果の発現が図られる。</li> <li>・円滑な事業実施に向け、既に用地取得の面で地元の協力体制が整っている。</li> </ul>			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通過交通がバイパスに転換することにより、現道沿い集落の生活環境の改善が図られる。</li> <li>・切土、盛土法面には、周辺植生に配慮した緑化を行い環境への影響を最小限に留める。</li> </ul>			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当路線の未改良区間解消に向けて順次整備を進め、平成14年度に山南町井原～村森間の整備が完了した。山南町域で最後に残る当区間の整備に向け、地元調整を進め、地元の理解、協力体制が整ったことから、平成16年度より事業着手する。</li> <li>・落石等危険箇所及び事前通行規制区間の解消等、安全・安心の確保に向け、早期整備が必要である。</li> </ul>			